



# 声のラン

## 声①

宅地開発などにより、以前は雑木林や畑であった場所がつつぎつつぎに住宅地となっています。

この10年間で、かなりの緑地が失われてしまったのではないかと感じています。

市は、大切な緑を守るためにどのような取組を行っていますか？

## 答①

支笏湖周辺で保全されている国有林などの森林や市の北東部に広がる農村地域など、千歳には恵まれた緑の資源があります。

都市部でも青葉公園や千歳川の清流などを中心に、自然環境は比較的恵まれています。が、市街地やその周辺の緑は、まちが発展する中で住宅地が急速に拡大したため、年々減少しています。

全国的に都市部の緑地は減少する傾向にあり、緑の保全や創出などに取り組み重要性が高まっています。

市は、平成18年につくった計画に基づき、「まもる」、「育てる」、「つくる」、「親しむ」、「見守る」の視点から緑づくりの基本方針を定め、緑地の保全と緑化に総合的に取り組んでいます。

具体的な取組として、みどり台や北陽高校前、あずさ地区の土地区画整理事業などでは、土地開発にあわせて計画的に公園緑地を整備しています。また、長都川やゴセン川

# 緑地が急激に少なくなっているのでは？

周辺の樹林地保全を進めています。

泉沢地区の樹林地は、自然環境の保持と住環境との緩衝帯として保全を進めています。

新千歳空港の周辺では、美々川とその源流部である千歳湖周辺の樹林地を総合公園に位置づけて保全することとしています。

都市における緑は、将来を担う子どもたちの感性と豊かな心を育て、快適でうるおいのある生活環境をつくることにも、市民の皆さんの財産となるものです。

今後も、計画に基づいて緑豊かなまちづくりを進めますので、市民の皆さんのご協力をお願いします。

都市整備課公園管理係  
☎(24)06997



豊かな自然が残る青葉公園は、雑木林の中での散歩などが楽しめる広大な自然総合公園です。

《60歳代男性》

## 【ワンポイントメモ】

市内には現在198か所の都市公園・緑地が整備されています。総面積は414ヘクタールで、市街化区域に占める割合は11パーセントになります。平成13年は160か所、面積348ヘクタール、市街化区域に占める割合は9パーセントで、10年前と比べると公園は着実に増えています。

## 案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】